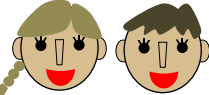
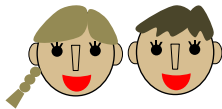


今月の 国内機関ニュース

南の沖縄から
紹介します！



～地域も途上国も元気に～VOL. 36 (2017年6月号)

美しい桜の季節が過ぎ、目に鮮やかな新緑に包まれている JICA 二本松。穏やかに移ろう自然の一方で、本年ここ福島県では5月の郡山市長選挙に続き、地元の二本松市や福島市、いわき市、大玉村など JICA 事業に深いご理解のある多くの自治体の長の選挙が行われます。慌ただしい中でも地域活性化に尽力している地元の方々を見るにつけ、そのニーズに応え、支援を実現できる JICA の国内拠点を全力で目指さなければと痛感します。

2017年6月1日 二本松青年海外協力隊訓練所 所長 洲崎 毅浩

センター	掲載記事
◆沖縄	OIC 食堂・図書資料室のコラボ企画 絵本の中の料理を再現！
◆九州	株式会社教育情報サービスの目指す地方創生
◆四国	第29回Tシャツアート展にJICA四国もTシャツ作品&ブース出展(報告)
◆中国	5月はフェアトレード月間です！『エシカル消費』について考えませんか？
◆関西	2017年3月～6月のテーマ「私たちの地球を救おう！」
◆中部	メキシコ研修員33名が日本語研修を修了！一日墨・日本語研修のご報告ー
◆駒ヶ根	人権平和教育「世界がもし100人の村だったら」を上田高校で実施しました！
◆北陸	富山発の環境教育プロジェクト(第2フェーズ)始動！
◆横浜	【イベント報告】JICA横浜 GW イベントが大盛況でした！
◆東京	「JICA-KIRIN フェロシッププログラム」開始
◆筑波	JICA 筑波で田植祭(さなぶり)を開催しました。
◆二本松	「1日体験入隊！～合格編～」大盛況で終了！
◆東北	東北福祉大学主催 JICA 草の根技術協力事業最終報告会
◆帯広	帯広信用金庫との「業務連携・協力に関する覚書」締結式
◆札幌	さっぽろキャンドルナイト2017
◆地球ひろば	「行動したい」中高生・大学生集まれ！！持続可能な社会につなげる第一歩



◆沖縄

OIC 食堂・図書資料室のコラボ企画 絵本の中の料理を再現！



図書資料室の絵本から、食堂スタッフがイメージをふくらませて、大洋州でよく食べられているタロイモや魚、ココナッツなどの食材を使ったオリジナルメニューを考案しました。4月のベトナム料理に続く第2弾です。民話絵本『おによりつよいおれまーい』（土方 久功/再話・画 福音館書店）は太平洋の小さな南の島に伝わる、ある男の子のお話。そこからスタッフがインスピレーションを得ています。図書室では、絵本のほかレシピ本などコラボ資料を展示・貸し出しています。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/okinawa/topics/2017/ku57pq00000qv0m.html>

★沖縄のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/okinawa/index.html>

◆九州

<地方創生への貢献に向けて Vol. 2>株式会社教育情報サービスの目指す地方創生



宮崎市の株式会社教育情報サービス(KJS)は、荻野次信社長が英語教諭を経て起業。動画制作ソフト「ThinkBoard」を活用し、eラーニングによる教育の標準化に力を入れています。2014年、バングラデシュでICT技術者の育成に「ThinkBoard」を活用し、情報処理技術者試験への合格率を向上させる案件化調査を行い、2017年採択の案件化調査ではケニアの高等教育対応教員不足を解消すべくeラーニングで教育の質の向上に取り組みます。「宮崎県出身者」でチーム編成するなど、地元を強く意識して海外展開事業を進めています。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/kyushu/topics/2017/ku57pq00000gy8la.html>

★九州のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/kyushu/index.html>

◆四国

第29回Tシャツアート展にJICA四国もTシャツ作品&ブース出展（報告）



5月3日～8日まで高知県黒潮町で開催された第29回Tシャツアート展にJICA四国からTシャツ作品30枚を出品しました。今年のテーマは、長期研修員たちの「お国自慢」や「日本での経験の一コマ」。アフリカや大洋州の各国から四国の大学で学ぶJICA研修員たちが撮影した写真をプリントしたTシャツが、会場である入野の浜でひらひらしました。今回、黒潮町の町民の皆さんが審査員の「ひらひら賞」には高知大学農学部で学んだムンギさん(ケニア出身・3月帰国)の作品が選ばれました。高知で初めてコンバインを操作した一枚です。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/shikoku/topics/2017/0524.html?channel=main>

★四国のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/shikoku/index.html>

◆中国

5月はフェアトレード月間です！『エシカル消費』について考えませんか？



エシカルとは英語で「倫理的な」という意味。「エコ商品・リサイクル製品」、「ロハス」、「フェアトレード」など、人や地球環境や社会貢献などに配慮したモノやサービスを消費する行動のことを「エシカル消費（倫理的消費）」と呼びます。フェアトレード月間の5月、JICA中国も広島県最大級のお祭りイベント「ひろしまフラワーフェスティバル2017」にフェアトレードをテーマにしたJICAブースを出展しました。実際の商品を展示し、訪れた人たちにフェアトレード紅茶を楽しみながらフェアトレードクイズに挑戦してもらいました。

該当ページ https://www.jica.go.jp/chugoku/topics/2017/20170518_01.html

★中国のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/chugoku/index.html>

◆関西

2017年3月～6月のテーマ「私たちの地球を救おう！」



JICA 関西・広報展示室では6月15日まで、環境や生物に関する展示を開催中。地球をとりまく環境問題の数々や、途上国の人々を始め私たち人類全体と自然や生態系を守るための取り組みを紹介しています。「世界のCO2排出量」は立体地図で、世界各国で1人当たりが1年間に排出するCO2量を表しています。円形の模型を世界地図に当てはめて、CO2使用量を国別に比較して実感してみましょう。生態系ピラミッドゲーム(アフリカ版)では動物や植物が人間のどのような活動によって破壊されているのかをゲームを通して学べます。

該当ページ https://www.jica.go.jp/kansai/event/2017/170323_01.html

★関西のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/kansai/index.html>

◆中部

メキシコ研修員 33 名が日本語研修を修了！－日墨・日本語研修のご報告－



日本とメキシコの相互理解と友好親善を目的とした「日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画」。JICA 中部では今年度の長期コースで 33 名の研修員を受け入れました。日本語研修は 4 クラスに分かれ、熱心に授業に取り組み、調理実習では JICA スタッフに手書きの招待状が届き、研修員が一生懸命準備をしてくれていることが伝わってきました。課外授業として企業訪問や 2 泊 3 日の「広島平和研修」にも参加。彼らがこれからの専門分野・研修実施先で得たものを両国の相互の発展・理解へと役立ててくれることに期待しています。

該当ページ https://www.jica.go.jp/chubu/topics/2017/20170517_01.html

★中部のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/chubu/index.html>

◆駒ヶ根

人権平和教育「世界がもし 100 人の村だったら」を上田高校で実施しました！



長野県上田高校では、SGH(スーパー グローバル ハイスクール)指定校となった 2015 年度より、5 月の人権平和教育の一環として、世界の不平等な現実を学ぶために、ワークショップ「世界がもし 100 人の村だったら」を、1 年生全員で行っています。前年度経験した 2 年生が、各クラスでファシリテーターとしてワークショップを運営。初年度には推進員が全体をアレンジし、ファシリテーターも行っていましたが、今年はまとめの講座を 20 分しただけで、成長していく生徒さんの姿に頼もしさを感じました！

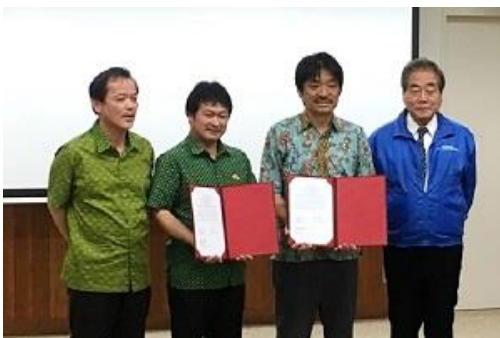
該当ページ <https://www.facebook.com/jicakomagane/posts/1340266906049808>

★駒ヶ根のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/komagane/index.html>

◆北陸

富山発の環境教育プロジェクト(第 2 フェーズ) 始動！



JICA は一般社団法人インドネシア教育振興会とともに、草の根技術協力事業(パートナー型)「インドネシア国・中学教科『環境』の確立と環境教育の普及支援プロジェクト」を開始します。5 月 16 日に、富山県立イタイイタイ病資料館にて合意文書署名式が行われました。このプロジェクトは、2017 年 3 月まで実施された第 1 フェーズを継承する事業で、4 年間の予定で実施されます。署名式当日はメディアが取材に訪れ、特に富山県内すべてのテレビ局のニュースで取り上げられるなど、本事業への関心の高さがうかがえました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/hokuriku/topics/2017/20170518.html>

★北陸のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/hokuriku/index.html>

◆横浜

【イベント報告】JICA 横浜 GW イベントが大盛況でした！



JICA 横浜では GW に 3 つのイベントを開催。海外移住資料館の企画展示「広島から世界へー移住の歴史と日系人の暮らしー」に合わせ、「あなごめし」「牡蠣カレー」など、広島県アンテナショップ「TAU」さんお勧めの商品を取り揃えた広島物産展。ADB(アジア開発銀行)総会横浜開催に合わせ、加盟国のひとつ、モンゴルを紹介するイベントではゲルの組み立て体験、書道体験、馬頭琴&ホーミー演奏会とモンゴル文化体感していただきました。1F ギャラリーでは JICA の鉄道支援を展示中。GW の特別企画で N ゲージを実際に走らせました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/yokohama/topics/2017/170518.html>

★横浜のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html>

◆東京

「JICA-KIRIN フェロウシッププログラム」開始



アジアの食品科学研究者育成を目的として、キリンホールディングス株式会社と JICA の間での協力合意の下、実施される JICA-KIRIN フェロウシップの開講式が 5 月 17 日に JICA 東京で催されました。キリン社 溝内 良輔 常務執行役員からは「時間を無駄にせず、研究活動と仲間作りに励んでほしい」とアドバイスが送られ、フェロー 5 名を代表して、ベトナムのグエン・ティ・ミン・フェンさんが「アジアの食の課題に挑戦し、アジアと日本の研究者間の交流がより深められるようにしたい」と研究活動への決意と関係者への感謝を述べました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/tokyo/topics/2017/ku57pq0000h146b.html>

★東京のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/tokyo/index.html>

◆筑波

JICA 筑波で田植祭（さなぶり）を開催しました。



5月13日、JICA 筑波で今年の豊作を祈願しながら、田植祭『さなぶり』を行いました。アジア、アフリカ、中南米から来日している研修員と、市民の皆様にも田植えを楽しんでいただき、雨の中でしたが小さなお子様たちも、カップに身を包み、元気いっぱい！田植えを初めて体験する研修員も多く、戸惑いながらも泥の中に足を踏み入れ、丁寧に苗を植えていきました。田植えの後は、アフリカで栽培されているネリカ米を使った「鶏肉と白インゲンのトマト煮」をご試食いただきました。9月には今回植えた稲を刈り取る収穫祭を開催いたします。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/tsukuba/topics/2017/ku57pq0000h1088.html>

★筑波のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/tsukuba/index.html>

◆二本松

「1日体験入隊！～合格編～」大盛況で終了！



JICA 二本松青年海外協力隊訓練所での「1日体験入隊！」は2部構成。4月30日の第二部は「合格編」で、今期応募することを決めていられる方が対象です。「合格編」限定の目玉企画、現在訓練中の訓練生との交流ランチでは、応募検討分野に分かれ、最も応募職種に近い訓練生との交流を深めました。参加者は志望動機や面接での思い出、訓練生活の感想など1次隊の経験談に熱心に耳を傾けていました。来場者同士も仲良くなり、より応募への気持ちが高まったようで、今年の「1日体験入隊！」も大盛況のうちに閉会しました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/topics/2017/ku57pq0000gy9w6.html>

★二本松のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/index.html>

◆東北

東北福祉大学主催 JICA 草の根技術協力事業最終報告会



ITと人材育成で豊かな国をつくることを目指すルワンダで、東北福祉大学と、現地NGO（障がい者に義手義足を提供）が中心となり、障がいを持つ人びとに向けて、収入を得ることをとおして自立心や自尊心を培い、障がいがあっても社会参画することを目指すため、「キガリ市に居住する障害者へのパソコン講習を通じた収入創出事業」が行われました。5月には講習の様子、ルワンダの生活の紹介、活動の今後の展望についてで報告会が開催されました。

該当ページ <https://www.facebook.com/Jicatohoku/posts/732091300305447>

★東北のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/obihiro/index.html>

◆帯広

北海道では初めての試みー帯広信用金庫との「業務連携・協力に関する覚書」締結式ー



5月12日、JICA 北海道と帯広信用金庫は、「業務連携・協力に関する覚書」締結式を行いました。これにより、セミナーの共催や信用金庫職員向けJICA事業勉強会、定期的な意見交換会、相談会の開催など様々な連携事業を行うことが可能となります。今後は、それぞれのネットワークや知識、経験を活かして、海外展開を目指す十勝の中小企業のサポートを一層充実させます。さらに、JICA 研修員との地域交流促進など十勝の皆様にも国際協力を身近に感じてもらうための取り組みも視野に入れ、地方創生へのさらなる貢献を目指します。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/obihiro/topics/2017/20170515.html>

★帯広のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/obihiro/index.html>

◆札幌

さっぽろキャンドルナイト 2017



札幌市が主催して14回目を迎える「さっぽろキャンドルナイト 2017」に、今年、JICA 北海道も参加することになりました！夏至の日（6月21日）に電気を消して、スローでエコな夜を楽しむコンセプトのイベントですが、JICA 北海道では誰でも参加して楽しめる音楽イベントとして、レストランで「オープンマイク（参加者が持ち回りで演奏する形式のライブ）」を企画しております。キャンドルの温かな灯を感じながら、あなたも一曲奏でてみませんか？もちろん聴くだけ、食べるだけの方も大歓迎！ふるってご参加ください！！

該当ページ <https://www.jica.go.jp/sapporo/event/2017/20170621.html>

★札幌のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/sapporo/index.html>

◆地球ひろば 「行動したい」中高生・大学生集まれ！！持続可能な社会につなげる第一歩



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

JICA 地球ひろばでは中高生や大学生の皆さんを対象に、持続可能な開発目標(SDGs)・生物多様性の保護・環境保全・熱帯雨林の破壊と維持などをキーワードに、「学生だからこそできること」、その第一歩を一緒に考える場を提供します。ボルネオでの生物多様性保全活動を通じ、人と自然が共に生きる持続可能な地球環境作りを目指す青木 崇史氏や熱帯雨林伐採(globally)と里山保全(locally)の諸問題の解決を目指す関口 伸一氏ほか講師を迎え、実際に「行動」する大人や同世代の学生と「対話」を通じ、学んでみませんか？

該当ページ https://www.jica.go.jp/hiroba/information/event/2017/170610_01.html

★地球ひろばのことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/hiroba/index.html>

発刊責任者：国内事業部長
編集：国内事業部広報班（計画課）
tatpl@jica.go.jp